

先日（5月8日）、眼科 K眼科 受診 7才 男児パピロックミニ点眼液 90個 1日3回の処方を受付ましたが、適応症が春季カタルのみであり、知らない疾患であった為、調べました。（痒み、強い充血がみられ今まで使用の点眼薬と併用とのこと。既往歴：花粉症、鼻炎）

春季カタルとは

- ・ アレルギーによる眼の病気
- ・ 20才以下の若年層に多い
- ・ 上まぶたの裏に石垣状乳頭〔眼瞼型〕、角膜と結膜の境に隆起物〔眼球型〕、両方〔混合型〕

重症度 眼瞼型>眼球型

- ・ 強いかゆみ、充血、粘性の強いめやに
 - ・ 春に悪化し、冬に軽快 のサイクルを繰り返す慢性の病気で一年を通じて症状がある
 - ・ 学童期の男子に多い 男女比は 3：1～4：1といわれる
- 7才前後で発症し、思春期を過ぎると自然に治っていくことが多い

※合併症として他のアレルギーでアトピー性皮膚炎、鼻炎、喘息などをもつ人が多いことから、アレルギー素因をもつ人が空気中のほこりやダニ、花粉、カビに反応して起こるのではないかと考えられている。

※ 注意点

重症例では上まぶたの裏にできた乳頭によって角膜に傷を受ける恐れがあり、この傷のため、角膜に白い濁りを残し、視力の低下を引き起こすことがある。角膜の傷は細菌感染を起こすことが多い為、十分な注意が必要である。

- ・ 春季カタルはアレルギー性結膜炎の中でも特に重症型といえる。難治性の重症アレルギー眼疾患。

治療

軽症の場合

- ・ 抗アレルギー剤、副腎ステロイドの点眼（効果不十分であればステロイドの内服）
- 乳頭の増殖が強く、角膜に障害を生じている場合
- ・ 定期的にステロイド剤の注射（上まぶたの裏）さらには、増殖した乳頭を切除する（上まぶたの裏）
 - ・ 免疫抑制剤の点眼（パピロックミニ点眼液0.1% 0.4ml、タムリス点眼液0.1% 5ml）

※ステロイド剤が治療にかかせないが、副作用もあるため十分な注意が必要

日常生活の注意

- ・ 眼以外のアレルギーがあれば、症状を悪化させない
- ・ 眼のまわりは清潔にする
- ・ 汚れた手で眼をこすらない
- ・ 手で眼をたたかない

治療は長期にわたる為、専門の眼科にかかり気長に治療することが大切である。

パピロックミニ点眼液 0.1%

販売メーカー：参天製薬

一般名：シクロスポリン

薬価：203.10 / 1個 (0.4ml)

効能・効果：春季カタル（抗アレルギー剤が効果不十分な場合）

用法・用量：通常、1回1滴、1日3回点眼する

禁忌：本剤成分に過敏症歴のある患者。眼感染症のある患者。妊娠または可能性のある婦人。

作用機序：アレルギーなどの免疫反応に関わる T 細胞からのサイトカイン産生を抑制する
カルシニューリン阻害薬

春季カタルの主症状である眼瞼結膜巨大乳頭の有意な改善が認められる

特徴：防腐剤を含まない使いきりタイプ。効き方がマイルドで副作用が少ない。

タリムス点眼液 0.1%

販売メーカー：千寿製薬・武田薬品

一般名：タクロリムス水和物液

薬価：9383.20 / 瓶 (5ml)

効能・効果：春季カタル（抗アレルギー剤が効果不十分な場合）

用法・用量：用時よく振り混ぜたのち、1回1滴、1日2回点眼する

禁忌：本剤成分に過敏症歴のある患者。眼感染症のある患者。妊娠または可能性のある婦人

作用機序：アレルギーなどの免疫反応に関わる T 細胞からのサイトカイン産生を抑制する

特徴：防腐剤入りの 5ml 製剤。シクロスポリンと比べ、実験室レベルで T 細胞抑制効果が約 100 倍といわれている強力な免疫抑制剤の点眼。ただし、承認時までの臨床試験では、64%の副作用報告があり、主なものは（44.2%）眼異常感（眼部熱感、眼異物感、眼違和感）、（20.9%）眼刺激、（11.6%）流涙増加が報告されているため、患者さんには副作用について時前によく説明しておく必要がある。

※どちらも免疫抑制剤であるため、ステロイド点眼剤と同様、ヘルペスやブドウ球菌などによる感染には十分な注意が必要となる。（点眼したときに液が眼瞼皮膚等についた場合は、すぐにふき取るよう指導する。）